

岩手でボランティア団体発足！—全国協議会に加盟

これまで準備会だった岩手県骨髄バンク推進協議会が正式に発足しました。岩手協議会は全国協議会に加盟を申請し、十一月十四日の運営委員会承認されました。これで全国協議会の加盟は二十二団体となりました。東北地方でボランティア団体組織されていないのは山形県ただ一つとなったわけです。新しい岩手の仲間からメッセージが届いています。

◆◆◆
◆◆◆
◆◆◆
◆◆◆
◆◆◆
◆◆◆
◆◆◆
◆◆◆

岩手県骨髄バンク推進協議会が十月二十七日に発足いたしました。福島、宮城をはじめとして各地のみなさんの助けをいただきやっとなつて出発することができました。初めてのイベントは、県との共催で推進シンポジウムを十一月十六

日に開催、渡辺運営委員長、大谷貴子さん、大石邦子さん、厚生省の東井さん等にご出席いただき、一般市民約五百名の参加を頂きました。

準備不足の点も多く、また岩手の普及活動の第一回目もありましたが正しい情報が普及していないことを痛感いたしました。今後各地の皆様のご支援をお願い申し上げます。



11月16日岩手でシンポジウム

岩手県骨髄バンク推進協議会
事務局 橋本正成
<連絡先>
〒020 盛岡市八幡町2の21
電話 0196-22-6539
FAX 0196-22-6546

ついに実現!! ケント氏講演会

十月二十二日、県総合社会福祉会館でケント・テリカッ卜氏の講演会が開かれました。静岡県と静岡県骨髄バンクを推進する会の主催で立ち見が出るほどの大盛況でした。ケント氏の講演の前後には静岡アラスアンサンブルの演奏と大谷貴子さんのお話も。



手話通訳つきのケント氏講演会

県と協同でシンポジウム開催

十一月二〇日厚木市総合福祉センターでシンポジウムを開催した。先日行なわれた三周年記念事業の成功を県に高く評価され、今回から県と共催で行なうことができた。又県内三カ所のデーターセンターからも後援をいただいたことは、特筆すべきことであろう。会場には冷たい雨が降っていたにもかかわらず一七〇名余の来場者があり、後援とシンポの間にママさんコーラスとハーモニカ四重奏の演奏も行ない、手話の同時通訳も入り楽しく充実したシンポジウムであった。(小磯)



あなたの愛が命を救う 骨髄バンクに関するシンポジウム

ヒューマン・ラブ・エイド・コンサート 骨髄バンク登録推進記念事業

1993年12月26日(日)開場午後3時
府中の森芸術劇場どりーむホール

■出演アーティスト
ミッキーカーチスRAMBAND おおたか静流
パンタSpecial Unit (CHAR他) IVORY GATE
泉谷しげる 中牟田俊男 & 千葉和臣 (元海援隊)
LOGOS (清田益章 & 伊藤浩樹) 刀根麻理子
古代まこと (ツール・ド・空海参加者)

■入場料 ※Tシャツ込み
指定席5500円(当日5800円)
自由席5000円(当日5300円)
■チケット受付
チケットぴあ (03-5237-9999)
■問い合わせ先
事務局 (03-3791-1551)

患者登録四五歳制限に疑問? 年齢別成績検討論文より

一九八五年から九〇年までの六年間に世界中で実施された兄弟間骨髄移植で、国際骨髄移植登録に受け付けた三〇才以上の二百八十名を対象に、年齢別に移植成績を検討した論文が報告されました。それによると四十五才以上の進行した白血病患者では移植による死亡の危険性がわずかに高くなっています。四十五才から四十九才では間質性肺炎による死亡が増えていますが、結論としては同種骨髄移植時の年齢が、三十才代の白血病患者に比べて、四十才以上の移植成績に年齢がマイナスの影響になるとはいえないという事です。とくに病態が初期、つまり急性白血病の第一寛解期、慢性骨髄性白血病の初回慢性期移植では生存率に高齢による影響は認められません。

各地のたより

長野 新ポスター・チラシにごとう和さんのイラスト

静岡県在住のマンガ家・ごとう和さんの協力を得て、ポスターとチラシの作成をしています。企画委員会での話も進み、いよいよというところ。わたしに生命をありがとう「人間ってすごいね」「あなたが待つ人がいます」これがキャッチコピーです。尚、十一月三十日秋田書店発売のマンガ本for Mrs.(H



この絵がポスターに!

各地のたよりを写真添えてお寄せ下さい。

秋田 第三回自転車キャラバン 無事終わる

八月二十九日、晴天の八幡平オートキャンプ場を後に、自転車キャラバンの一行が骨髄バンクキャンペーンの出発式会場である、鹿角市観光ふるさと館あんとらあに向かいました。同館には鹿角市や地元出身の県会議員など、大勢の方が集まっておられ、暖かい励ましを受けながら、鹿角市の広報車を先頭にスタートです。



出発式に鹿角市長にメッセージを渡す秋田募金の菅さん

上小阿仁村では村民運動会の会場でPRと村長へのメッセージの伝達を行ない、秋田市へ向け、再出発致しました。その後、二カ月をかけて後援をいただいた十四市町村を改めて訪ね、広報などを通じてのPRをお約束いただきました。今年三回目となる自転車によるPRも広く知られるようになり、一段と声援が多かったのが印象的でした。

心からのご寄付をありがとうございました

10月21日~11月25日まで

野村玲子	現金	10,000
東京荏原ライオンズクラブ	現金	50,000
匿名	切手	1,575
堂前悦子・美千子	切手	180
土屋七恵	現金	4,714
阿原一良	現金	10,000
匿名	切手	396
影山敦子	切手	900
綿引佐緒里	切手	108
斎藤麻子	切手	288
萬屋清美	テレカ	500
浦 博子	切手	5,240
匿名	切手	3,259
奥野早智	現金	23,407

(順不同 敬称略)

活動資金の援助をお願いします
銀行口座
さくら銀行 新宿支店
普通 5666655
郵便振替口座
東京 5-15754
全国骨髄バンク推進連絡協議会

野村正満 編 骨髄移植の現場から

患者や家族はどのように治療法を選択すべきか、移植医療の現状を第一線の医師らが報告した昨年のフォーラム「骨髄移植を学ぶ」のまとめと、バンク稼働後の課題を示す。
定価一七〇〇円(千三〇〇円)

海鳴社
東京都千代田区西神田 2-4-5
電話 03 (3262) 1967

頭痛のタネ、肩の重荷、首がまわらない、不景気な顔、足の引っぱりあい、勇み足、骨肉の争い、明日胃カメラ、プレッシャー、取り越し苦労、空まわり、板バサミ、ムカムカ、イライラ、モヤモヤ、ムシヤクシヤ、ギクシャク、セクハラ、未練タラタラ、内気、エッチ、良心の呵責、永すぎた春、単身赴任、親子の断絶、理由なき反抗、五里霧中、四面楚歌、諸行無常、煩惱、出来心、退屈、理想と現実のギャップ、失意のどん底、お先まっ暗、不吉な予感、気のせい、ツキがない、楽しくないでお悩みの方に、フジテレビ。